

## 「読書と豊かな人間性」についての授業報告

国語教育・若松伸哉

### 1、授業の概要

本授業は、読書および図書館に関する広く深い知識および読書推進のための技術の理解・習得を目指すものである。

授業の前半では、日本近代における図書館（制度）と読書の歴史を学ぶことによって、図書館と読書の自明性を問い直し、現在そして未来の図書館と読書についての学生個々人の展望を持たせるようにした。

授業の後半では読書における多様な価値観の存在や、ブックトークなどの読書推進活動を、グループで学習・活動させることによって、読書の現場における実践的な力を養った。

### 2、授業アンケートの項目と結果

授業アンケートでは①～⑫の項目について、それぞれ1～5の選択肢で評価を行ってもらった。選択肢の数字は、1が最も良く、3が普通、5が最も悪い、というような評価基準となっている。(④⑤の質問項目の評価基準については下に別記する。)また、最後に自由記入欄も設けた。

授業アンケートの項目と結果は以下のとおりである。(アンケート対象者：53名)

- 3 適切だった 4 やや遅かった  
5 とても遅かった】  
1：2名 2：1名 3：49名  
4：1名 5：0名
- ⑤ 授業の難易度はどうでしたか？  
【1 とても難しかった 2 難しかった  
3 どちらでもない 4 易しかった  
5 とても易しかった】  
1：0名 2：9名 3：40名  
4：4名 5：0名
- ⑥ 授業を受けて、新しい知識や技術を得ることはできたと思いますか？  
1：13名 2：35名 3：5名  
4：0名 5：0名
- ⑦ 授業を受けて、その内容について深く思考することができたと思いますか？  
1：15名 2：31名 3：6名  
4：1名 5：0名
- ⑧ 授業の内容に興味が持てましたか？  
1：13名 2：34名 3：6名  
4：0名 5：0名
- ⑨ 授業を受けて、「読書と豊かな人間性」ということについて自分の考えや取り組み姿勢が変わったと思いますか？  
1：6名 2：34名 3：11名  
4：0名 5：0名
- ⑩ 授業外の学習についてどれくらい取り組みましたか？  
1：3名 2：30名 3：16名  
4：4名 5：0名
- ⑪ この授業は全体として満足のいくものでしたか？  
1：7名 2：37名 3：9名  
4：0名 5：0名
- ① 授業の目的について理解できましたか？  
1：11名 2：39名 3：3名  
4：0名 5：0名
- ② 教員の声の大きさや話し方・態度は適切でしたか？  
1：16名 2：28名 3：9名  
4：0名 5：0名
- ③ 教員の授業に対する熱意・情熱は感じられましたか？  
1：15名 2：34名 3：4名  
4：0名 5：0名
- ④ 授業の進度はどうでしたか？  
【1 とても早かった 2 やや早かった

⑫ 授業を受けるときの自分の目標は達成できましたか？

1 : 6名      2 : 32名      3 : 13名  
4 : 2名      5 : 0名

自由記入欄については以下のようなコメントが見られた（一部抜粋）。

- ・読書を新しい視点で捉えることができた。
- ・読書について、今まで以上に考えを深めることができ、多くのことを考えていくことのできる授業でよかったと思います。さらに、今後の自分自身に活かしていくことのできる点も多く、とても学びの多い授業でした。
- ・ブックトークという活動がとても面白かった。また、この活動によって「読書」について考えさせられたように思う。
- ・ブックトークは、とても自分の中でためになりました。最近、本を読んでいなかったのですが、ブックトークのおかげで本を読みたくなくなりました。また、先生の授業は分かりやすかったです。
- ・本は元々好きでしたが、最近あまり本を読まなくなっていました。しかし、この授業をきっかけに、また本を読むようになった上、以前より本が好きになりました。先生の話し方も丁寧で分かりやすかったです。
- ・知識を与えられるだけではなく、実践的な活動もあり、とても充実した授業だったと思う。また、実際に司書教諭として役立つ経験もできたし、知識も得られたと思う。
- ・静と動があって、とても受けやすい授業でした。
- ・図書館や読書の歴史を振り返ることで、現在している読書も今ある図書館も昔は当たり前のもではなかったということを知ることができ考えを改めようと思った。
- ・「坊っちゃん」や「走れメロス」など有名な作品を読み解いていき、価値観について考え

る活動では、こういう考え方もあるのかと勉強になりました。

・読書と豊かな人間性という授業名のとおり、読書は心を豊かにしたり価値観に触れることで人は考えるということが、知識・体験の両方からわかった。

### 3、まとめ

アンケートを見る限り、授業自体は概ね好評であったと思う。自由記入欄のコメントのなかには「読書について考えさせられた」という意見もいくつか見られ、〈読書〉そのものについて各人それぞれが問い直すという当初の目的もそれなりに達成できた。また話し方や授業のわかりやすさについてもコメントのなかに多く散見され、この点についてもそれなりの水準が達成できたと考えている。

しかし、アンケートの結果、1～5の評価基準のなかで、「2」が最も多かったことを考えれば、まだまだ改善すべき点も多いと思われる。特に後半のパートである読書推進活動の体験については、時間も足りなくなったこともあり、さまざまな実践的活動などの紹介があまりできなかった。

本授業では、〈読書〉や〈図書館〉そのものについて、①その歴史を学びながら現在における意義を考えてもらうこと、②本を〈読む〉ときに発生する価値観について考えてもらうこと、③読書に親しんでもらうこと、この三点を主要なテーマとして設定し、これらについてはそれなりの達成を果たしたと思っているが、司書教諭を目指す学生たちは、実践的なスキルをもっと知りたいという思いもあるようだ。こうした点をふまえ、さらに改善していく必要性を感じた。